

【様式1】

団体名：南城市立佐敷小学校	連絡先 TEL：098-947-6212 Eメール：sasho-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
---------------	--

1 実践事項 (①) 「南城市立佐敷小学校の取り組み」

2 実践内容

(1) 【保・幼・こ・小連携】

◎スタートカリキュラム

本校では、幼稚園・保育園等から入学してくる児童がギャップを感じずスムーズに小学校生活に適應できるよう、昨年度から、就学直後の特別カリキュラムとして『佐敷小学校スタートカリキュラム』を計画・実施し、連携する保育園・幼稚園等から参観者をつのり、授業や学校生活の様子を公開した。目的（何のために）及び実践内容（何を）と手立て（どのよう）について1学年を中心に各クラスそろえる実践を意識して取り組んだ。



○保幼こ小連携合同研究会 @玉城小参観 (5月18日)

(2) 【小・中連携】

本校では、指導力向上に向け、地区学力向上推進室開催の各研修・公開授業に職員を派遣し、小中連携における公開授業を実施した。

◎小中連携合同研究会（算数・数学）

@与那原小参観 (6月22日) @大里中参観 (9月19日)

@西崎中参観 (11月7日) @大里中参観 (12月1日)

◎小中連携合同研究会（外国語） @馬天小参観 (10月2日) @佐敷中参観 (12月12日)

◎中学校校区合同研究会 公開授業 (10月12日)

3年：外国語活動 4年：国語 5年：算数 6年：道徳 特支：自立活動・各教科



◎小中連携合同研究会（外国語）@佐敷小 代表授業 久高優奈教諭 (4年2組) (12月8日)

◎校区校長相互授業参観・連携協議 (佐敷中・佐敷小・馬天小校長 1学期3学期)

◎校区生徒指導・教育相談担当情報交換会 (新入生の情報共有・校則の指針について等)

(3) 【地域・関係団体との連携】

◎全体での地域・関係団体との連携

・CS 構成員との顔合わせ・授業公開・情報交換会 (2学期)

・朝の立哨活動 (支部こども会)

・広報誌発行 (PTA 広報部：各学期)

・童話お話大会 (PTA 総務部：2学期)

・地区陸上競技大会・体育学習発表会 (PTA 保体部：2学期)

・PTA さしきっ子祭り (PTA 11月18日)

◎低学年

・水遊び・水泳学習における見守りボランティア (保護者 1学期)

・交通安全教室 (与那原警察署 1学期)

・町探検 (地域事業所 1学期)

・図書館見学 (公立図書館 2学期)



○3年

- ・ポッチャ体験（南城市社会福祉協議会 2学期）

○4年

- ・車いすツインバスケットボール体験（沖縄フェニックス 1学期）
- ・尚巴志アウトリーチ事業（南城市文化課 4月）
- ・環境教育「SDGsワークショップ」（ミライラボより講師来校 2学期）



○5年

- ・田植え体験（1学期）
- ・環境教育「SDGsワークショップ」（ミライラボより講師来校 2学期）
- ・環境教育「プラスチックごみについて」（沖縄県地域環境センターより講師来校 2学期）
- ・知念漁港見学（知念漁業組合 2学期）
- ・佐敷干潟フィールドワーク（地域ボランティア 2学期）
- ・環境教育「交通機関の活用」（寺本潔東京成徳大学特任教授 2学期）

○6年

- ・着衣水泳出前授業（島尻照合 1学期）
- ・環境教育「自然科学エネルギー」（琉球大学工学部より講師 2学期）
- ・環境教育「モビリティマネジメント」（寺本潔東京成徳大学特任教授 南城市交通課 交通モビリティ財団 2学期）
- ・体育学習発表会エイサー演舞の地謡（琉球古典音楽野村流松村統絃会、沖縄民謡協会より演者来校）



4 成果

- ・保護者地域・関係団体の教育参加意識が高まり、学校・過程・地域社会の相互の協力のもとに、課題や学習に主体的に取り組もうとする児童を地域をあげて育成しようとする雰囲気醸成することができた。
- ・教職員自身が生涯学習者として生活学習の理念の実現に寄与する観点から、より地域の教育資源に対する理解を深め、自己啓発を図ることができた。

5 課題

- ・子どもたちの学びや保護者・地域の学校教育参画をとめない方法を考案していく必要がある。
- ・地域の人材を学校支援ボランティアとして効果的に活用する上で必要となる事前の打ち合わせ等に係る時間の捻出が難しい。